

インフルエンザ(2025年第48週)疫学情報 《コメント》

2025年第48週の定点当たり報告数は44.99(患者報告数173,380)となり、前週の定点当たり報告数51.12よりも減少した。都道府県別では埼玉県(74.81)、長野県(72.49)、福島県(64.81)、岩手県(61.50)、栃木県(58.83)、茨城県(58.49)、大分県(57.90)、新潟県(57.84)、愛知県(55.73)、群馬県(55.09)、青森県(53.75)、京都府(53.03)、岐阜県(52.93)、山形県(52.90)、宮城県(51.11)の順となった。全国47都道府県中、19都道府県では前週の報告数よりも増加し、28都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は2,261例であり、前週(2,068例)から増加した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(148例)、1～4歳(395例)、5～9歳(335例)、10代(166例)、20代(48例)、30代(47例)、40代(34例)、50代(61例)、60代(118例)、70代(322例)、80歳以上(587例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第44週～2025年第48週)では、AH3亜型が249件(95%)、B型が7件(3%)、AH1pdm09が5件(2%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。